



「情報ほっとライン」は裏表紙から始まりです

久留米大学公開講座 邪馬台国と九州王朝論

5月2日から30日までの土曜14時～15時30分 同大学御井キャンパス 内容邪馬台国筑後説と古事記・日本書紀との関係を学習 料金2,500円 定員100人・先着順 申込期間4月8日(水)9時～17日(金) 申込方法住所、氏名・ふりがな、年齢、電話番号、講座名、受講料支払方法をファクス、メールで連絡 同大学地域連携センター (☎FAX 43・4413、 43・4413) koukai@kurume-u.ac.jp

松濤塾 (空手道)

月・木曜19時～21時・江南中学校、土曜17時30分～21時・荘島体育館 対象小学生以上 会費月額3,000円 同塾の内田さん (☎090-3327-9006、 38-4877)

日曜在宅医

Table of medical services for April 5th, including departments like Internal Medicine, Surgery, Pediatrics, and Ophthalmology with hospital names and phone numbers.

Table for All Day/ Holiday services, listing hospitals like St. Maria Hospital and Kurume Central Hospital.

ちくご路かわら版

久留米市と共に久留米広域市町村圏を形成する大川市、小郡市、うきは市、大刀洗町、大木町のイベントなどを紹介します。

【うきは市】一の瀬焼春の陶器まつり

5月2日(土)から6日(木)までの10時～17時 浮羽町一の瀬焼窯元 内容6窯元の新作など 同うきは市うきはブランド推進課 (☎0943-76-9029、 0943-77-5557)

クロスロードかわら版

久留米市と共に筑後川流域クロスロード協議会を構成する小郡市、鳥栖市、基山町のイベントなどを紹介します。

【鳥栖市】鳥栖市重要無形民俗文化財 宿の鉦浮立

4月29日(水)10時～・鳥栖市役所、

12時10分～・宿町船底神社 内容太鼓に合わせ、鉦を打ち鳴らして演舞

同鳥栖市生涯学習課 (☎85-3695、FAX 83-0042)

編集後記

出勤中のバス停で、はかま姿の女性を見掛けました。卒業式に向かうのでしょうか。きれいな立ち姿に見とれ、他のお着物も見たい～とキョロキョロしましたが、周囲にはその女性ただ1人。例年は卒業式と分かる人が何人もいたのに、式の縮小という新型コロナウイルスの影響を実感しました。さよならと次の世界への心の準備をする卒業式がひっそりと終わることに心苦しさを感ずりますが、たくさん子どもや若者たちにとって、新しいステージへの挑戦が楽しみであってもらえるように思います。ご卒業おめでとうございます。(ナ)

※平時の診療時間や災害時の開閉は各医療機関にお問い合わせください ※医療機関が変わる場合があります。変更は市ホームページ「日曜在宅医」で確認してください

Table of medical services for April 12th, including departments like Internal Medicine, Surgery, Pediatrics, and Ophthalmology.

夜間・休日の子どもの急な病気やケガで心配なときは 小児救急医療電話相談へ 平日19時～7時、土曜は12時から、日曜・祝日は24時間受け付け

Table of medical services for April 19th, including departments like Internal Medicine, Surgery, Pediatrics, and Ophthalmology.

※休日当番薬局は久留米三井薬剤師会ホームページへ

救急車を呼ぶか、病院に行くか迷ったときは救急電話相談・医療機関案内 プッシュ回線#7119または☎092-471-0099へ。24時間受け付け

久留米市美術館

とき・ひと・美をむすぶ



市美術館のイベントや所蔵品などを紹介します。



海老原喜之助《雪中猪》1931年頃 久留米市美術館蔵

19歳の若さで単身渡仏した、海老原喜之助

鹿児島島の商家に生まれた海老原喜之助は、少年時代から絵を描き始め、「美術学校に行きたい」と18歳で上京、19歳の時にフランスへ渡りました。パリでは藤田嗣治に深い薫陶を受け、やがて「エビハラ・ブルー」と呼ばれる、独特な青色を基調とした雪景シリーズで高い評価を得るようになります。

「雪中猪」は海老原が27歳の頃、パリ時代に描いたものですが、他の雪景シリーズと同様に、実際に見た風景ではなく、想像で描いたものと推測されます。勢よく駆ける猪の硬い毛並みや、雪をいただく木々の茂みを、パレットナイフで絵具を斜めに重ね、大胆かつ巧みに表現しています。海老原の絵は、寒色の青を用いながらも、素朴な暖かみがあるのが魅力です。

会場では、画家たちが絵かきになることを意識した言葉も紹介しています。 【学芸員：中山景子】

同久留米市美術館 (☎0942-39-1131、FAX 0942-39-3134)

久留米市美術館の

コレクション

絵かきになりたい!

4月4日(土)から 5月31日(日)まで

目指せ! オリ・パラ

5 カヌー競技：桐明輝子

将来、五輪出場が期待される久留米市ゆかりのアスリートを紹介します。



着順を競うカヌースプリント競技の練習に取り組む桐明選手



【プロフィール】

八女市出身。平成8年11月生まれ。三潯高校卒業。カヌー競技で、東京2020オリンピック出場を目指す

夢に向かってパドリング

中学時代はバスケットに打ち込んでいた桐明輝子選手は、先輩に誘われたことがきっかけでカヌーの強豪校である三潯高校に進学しました。城島町のクリークなどで練習に没頭。カヤック種目ですぐに頭角を現し、高校2年生の時に国体で優勝しました。以来、国内の大会では常に上位入賞するほどの実力を付けます。3年生では世界ジュニア選手権に日本代表として出場。大学では、憧れだったカナディアン種目に転向し、日本代表として数々の世界大会で活躍しました。

現在は福井県スポーツ協会に所属。昨年の国内大会では全て優勝という快挙を果たしました。オリンピックでのメダル獲得を目標に、日々精進しています。「不足している下半身の筋カトレニングに励んでいる。シングルでもペアでもオリンピック出場を狙っています」と桐明選手は語りました。 【体育スポーツ課：永松拓馬】

同体育スポーツ課 (☎0942-30-9226、FAX 0942-38-2259)